

企画展開催業務〔予算額 119,286千円〕

社会文化部美術博物館
学芸係(28-5002)

財源内訳	財産収入 4,720千円、諸収入 39,904千円、一般財源 74,662千円
支出内訳	10款5項8目 美術博物館費／企画展資料調査報償金 197千円、費用弁償 42千円、特別旅費 855千円、消耗品費 77千円、通信運搬費 20千円、図録等販売手数料 133千円、入場券販売手数料 74千円、企画展開催委託料 87,192千円、写真原板製作委託料 406千円、複写機使用料 30千円 10款5項12目 地域文化広場費／講師等報償金 17千円、特別旅費 212千円、印刷製本費 49千円、企画展開催委託料 29,982千円

美術博物館

4/3~5/16 繰越事業
岩合光昭写真展
どうぶつ家族／ねこ科
ねこで有名な動物写真家、岩合光昭氏の魅力ある作品約 200 点を2つのテーマで紹介しします。館内外での展示により、美博一帯が「イワゴワールド」に変貌します！

5/29~7/11
渡辺省亭
一欧米を魅了した花鳥画一
明治・大正時代にかけて活躍した渡辺省亭（わたなべせいいてい）の全貌を明らかにするはじめての展覧会です。国内外所蔵の選りすぐりの作品によって省亭の画業を紹介しします。

7/31~9/26
水木しげる魂の漫画展
「ゲゲゲの鬼太郎」で知られる漫画界の鬼才水木しげるの多彩な画業に迫る展覧会です。漫画原稿や原画、映像資料、水木愛用の道具を紹介するほか、当館が所蔵する戦時資料も併せて展示しします。

10/9~12/19
至宝
一燦めく岡崎の文化財一
矢作川がもたらした肥沃な土壌と地理的特質により多彩な歴史と文化が培われた市域の歴史と風土を物語る文化財を展示しします。

世界子ども美術博物館

4/17~6/27
動きや音を楽しむ 樋口一成木のおもちゃ展
木の造形が転がる音を楽しみながら、可愛くて心地よい木のおもちゃで遊び、造形への関心を高めていただく企画展です。

7/3~9/5
ウルトラ特撮ワールド
ウルトラマンと怪獣の世界
「何かを空想する、夢見ること楽しい！」と感じていただける内容で、ウルトラヒーローたちの歴史と作品を紹介、親子で楽しめる企画展です。

9/11~11/28
シャガール展
一夢みる版画たち
20世紀の巨匠マルク・シャガールの初期から晩年までの貴重な版画作品、約270点を一堂に展示し、平和と愛に満ちた色彩の世界を紹介しします。

12/4~3/6
不思議な3Dトリックワールド
一世界の名画展
世界的な有名絵画を3Dアートにし、絵に合わせてポーズをとれば、自分も絵の中の一部になった写真が撮れる体験型アート。楽しみながら名画を学ぶことができます。

その他の展覧会

岡崎市美術博物館
1/29~3/13
名品コレクション展（仮）

おかざき世界子ども美術博物館
3/12~3/31
第33回リトルアーティスト展

※都合により展覧会の内容及び会期を変更する場合があります。

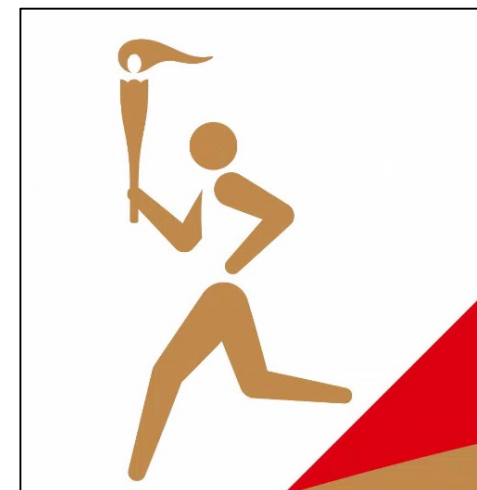
国際大会等誘致業務 (予算額 23,937千円)		社会文化部スポーツ振興課 スポーツ事業推進係(23 - 7922)
財源内訳	一般財源 23,937千円	
支出内訳	10款6項1目 社会体育費 / 費用弁償 71千円、特別旅費 142千円、国際スポーツ大会等推進委員会負担金 17,724千円、聖火リレー愛知県実行委員会負担金 6,000千円	

事業目的

国際スポーツ大会等を誘致し、市民に世界トップレベルの技術を見る場を提供することにより、スポーツの裾野拡大やスポーツ意欲向上を図ると同時に地域活性化に貢献する。

事業概要・スケジュール

- ・ 4月6日：オリンピック聖火リレー（大手門～岡崎城～河川敷～桜城橋）
- ・ 7月：モンゴルアーチェリーナショナルチームオリンピック事前キャンプ
- ・ 7月～8月：オリンピックパブリックビューイング
- ・ 11月11日～14日：WRC世界ラリー選手権（岡崎中央総合公園他）



旧本宿村役場復原活用業務〔予算額 172,540千円〕		教育委員会事務局社会教育課 文化財係(23-6177)
財源内訳	国庫支出金 18,565千円、市債 92,000千円、一般財源 61,975千円	
支出内訳	10款5項5目 文化財保護費／消耗品費 1,598千円、印刷製本費 157千円、通信設備架設料 3千円、案内板等製作委託料 996千円、建築工事請負費 169,132千円、庁用器具購入費 238千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 416千円	

令和4年4月開館予定



旧本宿村役場復原の概要

旧本宿村役場は、本宿村の三代目の庁舎として昭和3年に竣工しました。カウンター方式を採用した近代的な役場庁舎の先駆的存在であり地域で親しまれてきましたが、平成20年に解体され、現在部材が保存されています。

物心ともに地域を象徴する近代化遺産である旧本宿村役場を復原することで、本市観光の玄関口である東部エリアの魅力増進に資するとともに、地域への誇りと愛情を育む資産として活用を図ってまいります。



歴史に触れる

古来より交通の要衝として栄え、風情ある建造物が多く残る本宿のまちの「歴史」に触れる施設とします。

人を繋ぐ

地域の歴史や文化を学ぶ拠点として活用することで、人と人を繋ぎ、誇りや愛情を育みます。

まちに誘う

東部地域を象徴する貴重な近代化遺産を復原することで、魅力的な回遊ルートの実現に寄与します。



令和元年度：実施設計

令和2年度：復原工事

令和3年度：復原工事

令和4年度：開館予定

岡崎城跡整備業務 (予算額 54,752千円)		教育委員会事務局社会教育課 岡崎城跡係 (23 - 7270)
財源内訳	国庫支出金 8,259千円、一般財源 46,493千円	
支出内訳	10款5項5目 文化財保護費 / 委員報酬 192千円、費用弁償 105千円、食糧費 3千円、植栽管理委託料 1,100千円、史跡測量委託料 14,852千円、史跡発掘調査委託料 7,942千円、史跡保存修理委託料 550千円、施工監理委託料 3,500千円、会場使用料 8千円、史跡整備工事請負費 26,500千円	

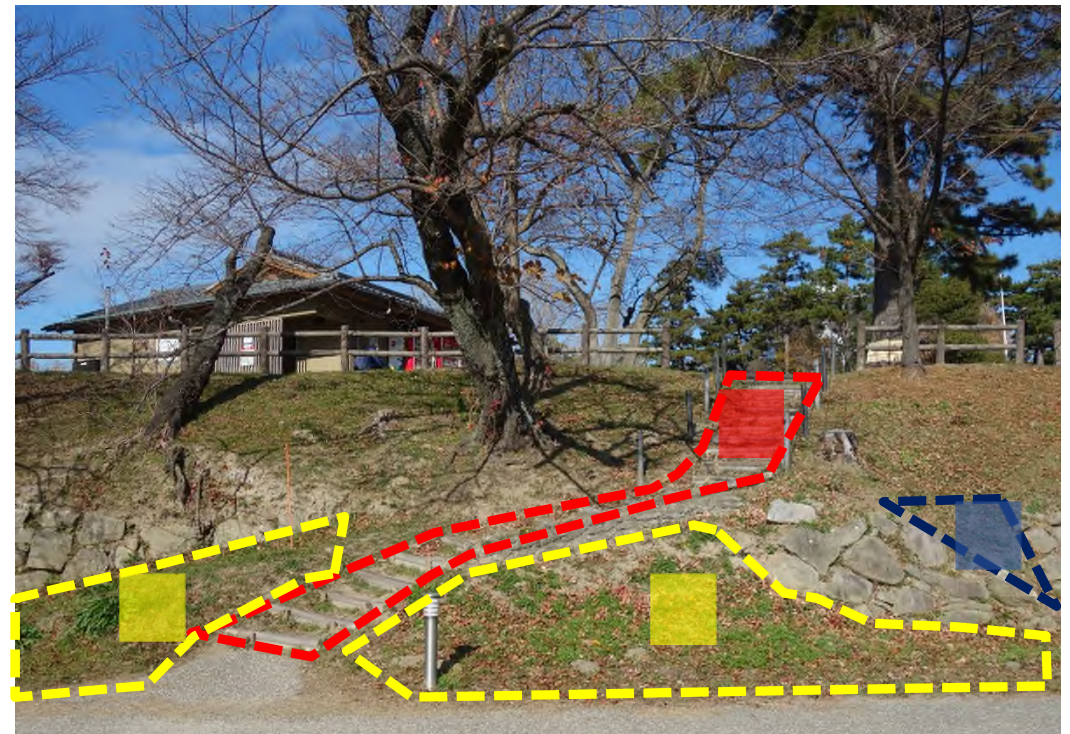
【事業概要】

岡崎市の象徴であり、市を代表する史跡である岡崎城跡について、「岡崎城跡整備基本計画」に基づき、歴史文化資産としての価値を高めるため、事業を進めていきます。

- 岡崎城跡整備委員会の開催
- 岡崎城跡菅生川端石垣発掘調査
- 石垣の測量 (太鼓門石垣)・変位計測 (8箇所)
- 石垣を毀損する樹木の伐採 (太鼓門石垣)
- 菅生川端石垣整備工事
 - ・西柵形の復元、東柵形の顕在化



石垣を毀損する樹木の伐採

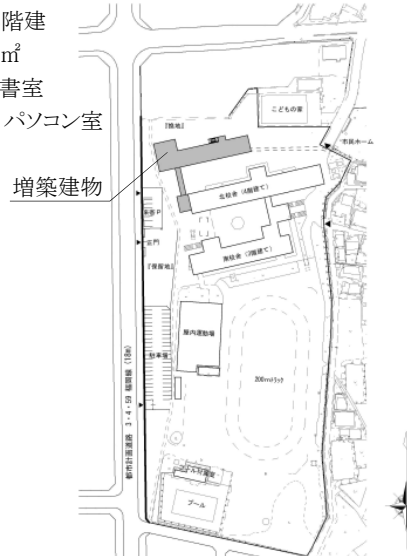
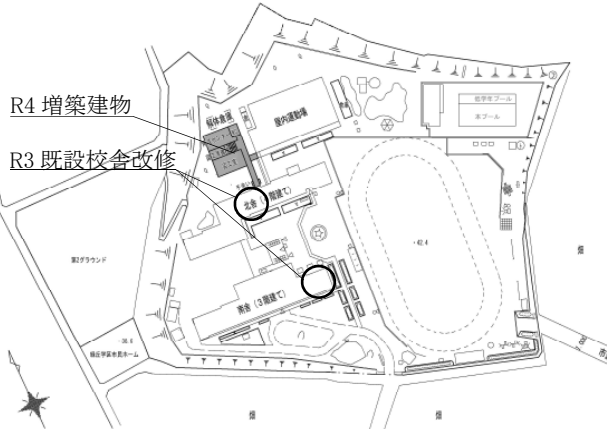
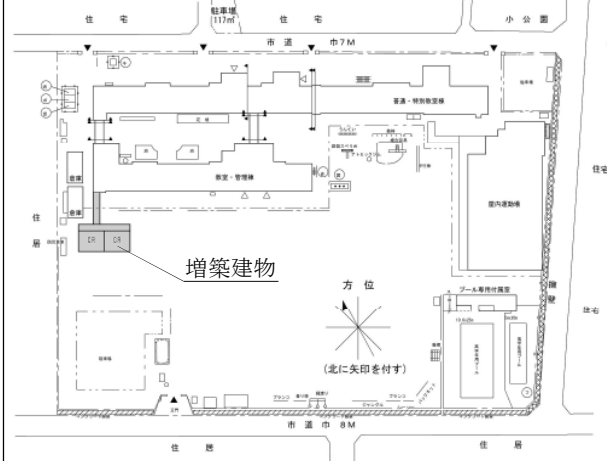


西柵形の復元

階段撤去 埋没している石垣を高水敷まで掘り出し 抜け落ちた石材の充填

<h2>小学校校舎整備業務〔予算額 877,736千円〕 ※岡崎小学校校舎整備業務始め3業務合算</h2>		教育委員会事務局施設課 整備係(23-6422)
財源内訳	国庫支出金 212,083千円、繰入金 7,000千円、市債 413,000千円、一般財源 245,653千円	
支出内訳	10款2項3目 学校建設費／◇岡崎小学校校舎整備業務:消耗品費 3,873千円、校舎増築工事請負費 754,426千円、庁用器具購入費 3,994千円、◇緑丘小学校校舎整備業務:校舎増築工事請負費 5,762千円、◇六名小学校校舎整備業務:消耗品費 702千円、校舎増築工事請負費 108,702千円、庁用器具購入費 277千円	

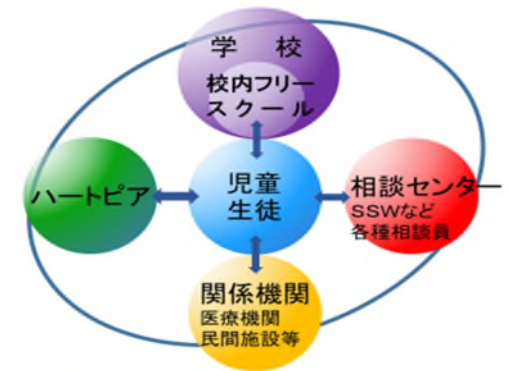
急激な児童数の増加が予想されるため、校舎を増築することで教室不足の解消を図ります。

<h3>岡崎小学校校舎整備業務</h3> <p>【児童数増加要因】 【762,293 千円】 岡崎駅南土地区画整理事業</p> <p>【年次計画】 R1年度 校舎増築実施設計 R2年度 校舎増築工事(継続費) R3年度 校舎増築・外構工事(継続費)</p> <p>【建築予定建物】 鉄筋コンクリート造3階建 延べ面積 2,124.58 m² 普通教室(8室)、図書室 家庭科室、図工室、パソコン室</p> 	<h3>緑丘小学校校舎整備業務</h3> <p>【児童数増加要因】 【5,762 千円】 紡績工場跡地の宅地開発</p> <p>【年次計画】 R2年度 校舎増築実施設計、地質調査 R3年度 既設校舎改修工事(普通教室3室増) R4年度 校舎増築工事、既設校舎改修工事</p> <p>【建築予定建物】 鉄骨造2階建 延べ面積 約 650 m² 図工室、パソコン室、図書室</p> 	<h3>六名小学校校舎整備業務</h3> <p>【児童数増加要因】 【109,681 千円】 工場跡地の宅地分譲及びマンション分譲</p> <p>【年次計画】 R2年度 校舎増築実施設計、地質調査 R3年度 校舎増築工事</p> <p>【建築予定建物】 鉄骨造平屋建 延べ面積 約 210 m² 普通教室(2室)</p> 
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

拡充	児童生徒健全育成推進業務 (予算額 121,416千円)	教育委員会事務局学校指導課 指導管理係 (23 - 6877)
財源内訳	国庫支出金 4,791千円、諸収入 124千円、一般財源 116,501千円	
支出内訳	10款4項1目 教育指導費 / 会計年度任用職員報酬(ロングパート) 32,666千円、会計年度任用職員報酬(ショートパート) 47,446千円、会計年度任用職員手当(ロングパート) 6,942千円、会計年度任用職員手当(ショートパート) 3,859千円、会計年度任用職員共済費(ロングパート) 6,890千円、会計年度任用職員共済費(ショートパート) 1,604千円、講師等報償金 40千円、事業協力者報償金 112千円、相談員報償金 899千円、費用弁償 4,871千円、消耗品費 3,345千円、通信運搬費 13千円、いじめ防止対策推進委託料 1,675千円、学級集団評価支援委託料 10,279千円、愛知県適応指導教室連絡協議会負担金 6千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 769千円	

児童生徒の健全育成のため、学校・家庭・地域・各関係機関が連携し、いじめ・長期欠席等に対する未然防止・早期発見・早期対応の実現を図ります。

社会的な自立を将来の目標に、校外適応指導教室「ハートピア竜美・上地」において長期欠席児童生徒へ支援・指導を行います。
スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、登校支援員等による各種相談・支援体制の充実を図ります。



拡充

校内フリースクールの拡充

校内フリースクールを中学校8校へ拡充

生徒の多様性への対応による長期欠席の未然防止
教室復帰だけでなく社会的な自立を目指した支援の充実
校内フリースクール利用生徒の自己肯定感や自尊感情の向上
個の学習状況に応じた指導や配慮の充実化

拡充

hyper-QU の実施方法の変更と内容の充実

WEB-QU の導入と年2回の実施へ

WEB での実施による結果反映までの高速化
コスト削減による年1回から2回の実施

検査対象を小学4年生まで拡充

よりの確に児童の状況を把握するため、発達の個人差に気付
き人間関係の構築に変化がみられる小学4年生まで拡充

水泳授業支援業務 (予算額 9,458千円)		教育委員会事務局学校指導課 指導管理係 (23 - 6877)
財源内訳	一般財源 9,458千円	
支出内訳	10款4項1目 教育指導費 / 水泳指導員派遣手数料 1,417千円、会場使用料 8,041千円	

【事業概要】

児童生徒の水泳技能の向上、教職員の負担軽減及び施設の維持管理費の削減を図り、より安全で快適な授業環境を整えるため、学校のプールで実施している水泳授業を、民間のスイミングスクール施設で実施する。(令和2年度の新規業務として計上したが、コロナ禍のため市内全小中学校の水泳授業が中止、令和3年度に継続業務として計上)

【具体的な事業内容】

モデル校

- ・愛宕小学校 (全10クラス、児童179名)
 - ・新香山中学校 (全17クラス、生徒471名)
- クラス数には特別支援学級を含む

モデル授業の概要

- ・原則として2クラスを1グループとする。
- ・1グループあたり授業2コマ分を1回とし、年間5回実施(10時間程度)
小学校：計15回、中学校：計40回
- ・指導体制(1グループあたり)
小学校：教師2名、インストラクター4名、監視員2名
中学校：教師2名、インストラクター2名、監視員2名
- ・移動にはスクール所有のバス又はスクールから委託されたバス会社のバスを利用する。



期待される効果

- ・児童生徒の水泳に対する興味関心の深化、技能の向上
- ・より安全で快適な授業環境の整備
- ・気候や天候に左右されない計画的な授業の実施
- ・プールの衛生管理及び水泳授業の実施に係る教職員の負担軽減
- ・学校プール施設の改築改修費用や維持管理費用の削減

30人学級実施検討会議開催業務〔予算額 1,467千円〕		教育委員会事務局総務課 学校情報係(23-6420)
財源内訳	一般財源 1,467千円	
支出内訳	10款4項1目 教育指導費／委員報酬 800千円、費用弁償 49千円、食糧費 14千円、報告書作成委託料 604千円	

【事業概要】

市内小中学校における30人学級の実施に向けて検討会議を開催します。

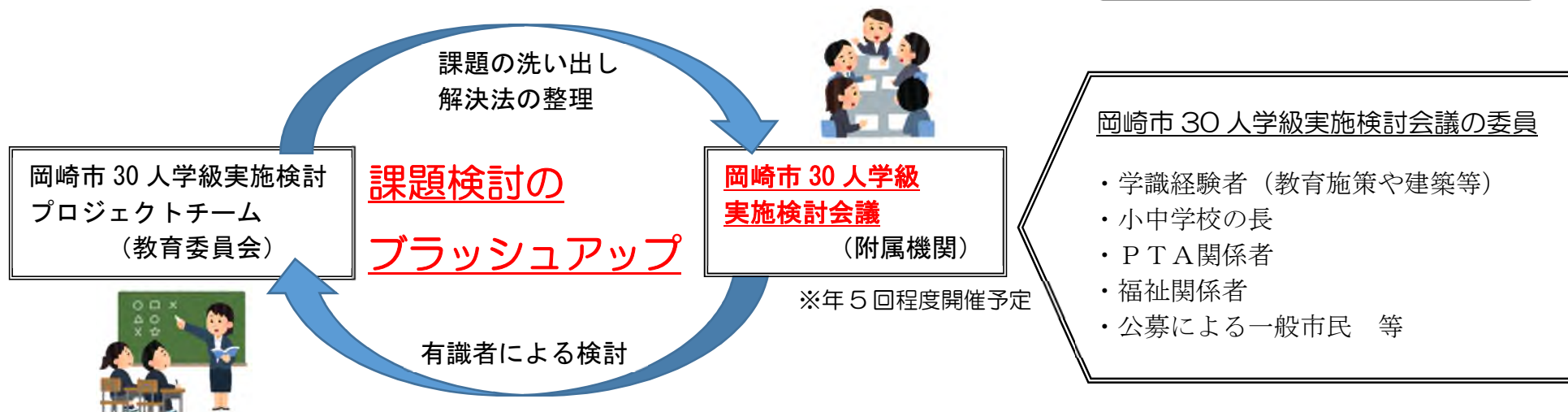


< 会議設置の目的 >

- ①市内小中学校における、ウィズコロナ、ポストコロナ時代の「新しい生活様式」に即した、望ましい学級集団の姿を模索する。
- ②誰一人取り残すことなく、すべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適化された学び」の実現に向け、1学級における望ましい児童生徒数を検討する。

主な検討課題

- (1) 1学級の望ましい児童生徒数
- (2) 教員の安定的な確保
- (3) 教室等の施設・備品
- (4) 必要となる予算の確保



新学校給食センター整備業務(予算額 21,350千円)

教育委員会事務局総務課
給食管理係(23 - 6863)

財源内訳 一般財源 21,350千円

支出内訳 10款4項4目 学校給食センター費 / 委員報酬 475千円、費用弁償 56千円、食糧費 3千円、契約等支援委託料 20,075千円、草刈委託料 741千円

【事業概要】

西部学校給食センターは昭和53年、南部学校給食センターは昭和57年から学校給食の提供を開始しており、老朽化が進んでいることから、新たな学校給食センターを整備することで児童生徒により安全で安心な学校給食を提供していきます。

【令和3年度の主な事業内容】

西部学校給食センター整備事業者選定



【新学校給食センターイメージ写真(写真は「東部学校給食センター」より)】



施設全体



調理風景



アレルギー調理室

新規	子ども若者育成支援業務 〔予算額 7,575千円〕	教育委員会事務局社会教育課 社会教育係(23-6655)
財源内訳	一般財源 7,575千円	
支出内訳	10款5項2目 青少年費／若者相談委託料 7,575千円	

子ども・若者育成支援推進法に基づき、不登校やひきこもり、ニートなどの困難を有する若者（15歳から概ね39歳まで）を支援するため、若者相談窓口を開設します。若者に関する相談の一元的な受け皿として、適切な関係機関の紹介やその他必要な情報提供などを行います。

福祉総合相談体制の中に組み込むことで、子ども・若者育成支援に関わる様々な機関をつなぐネットワークを整備し、若者が社会生活を円滑に営むことができるよう、年齢階層で途切れることのない、継続した支援を行ってまいります。

